



# Interior de “Mamoru”

香川県立善通寺第一高等学校

11 住み続けられる  
まちづくりを



13 気候変動に  
具体的な対策を



## ○ 目的

近年頻繁に起こる自然災害の中で家具やインテリアによって亡くなってしまう人も多くいることが分かったため、それらに特化した防災をすることで事前に防ぎ、何か未来に繋げていけるのではないかと考えた。

## ○ 実践者

井之川智華 川上拓真 池上加奈子 大西莉瑚

## ○ 期間

令和3年4月 ~ 現在（令和4年2月）

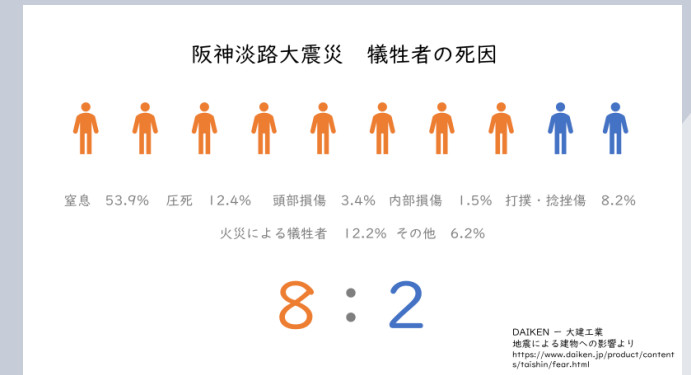
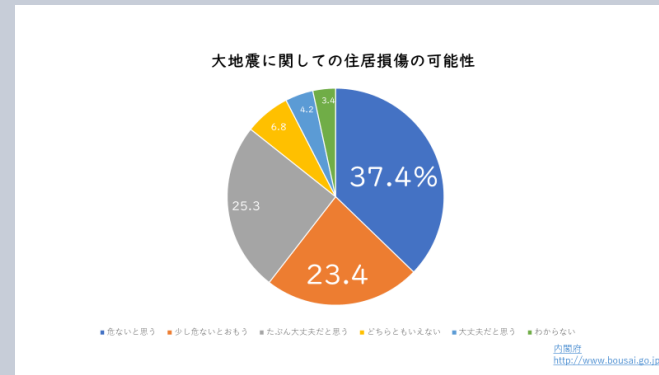
## ○ 場所

香川県立善通寺第一高等学校、良品計画さん

## ◦ 内容

- ・地震による住居損傷の可能性、地震に対しての危険性・防災対策についてのグラフやアンケートを引用して危機感・意識がどれほどあるのかを調べる。
- ・私たちが防災家具を考えて自身の防災意識を高めるとともに、それに基づいたパンフレット・模型を制作し、他の人に少しでも防災に対して興味をもってもらう。
- ・自作防災家具を実現化させるべく、防災についてのプロジェクトを行っている良品計画さんに交渉の手紙を送り、お返事を待つ。
- ・最終報告会の際に発表とパンフレットにおいて良かった点・悪かった点についてのアンケートを実施し、これからの探究活動に活かしていく。

## ○ 結果



- ・ 「住居損傷はせず大丈夫だろう」という考えをもっている人が約4割もいること、地震に対して危険性が高まっていると感じたうえで防災ができていないことを認識している人が多くいることが分かった。
- ・ 交渉の件については1月下旬に良品計画さんにお手紙を送ったが、まだお返事をいただけていないため今後を楽しみにしている。
- ・ 実施したアンケートの結果は、好印象を受けるような意見がある一方で今後の課題となってくるような厳しいものもあった。いただいた意見は集計した後、簡単にまとめて今後有効活用していく。
- ・ 今後の活動にあたり新たに「防災をすることが面倒くさい」という問題点が見つかったため、その理由・どうすれば問題はなくなるのかということについてアンケートを実施する。